令和6年度

小山高校

修学旅行

in

沖縄

静岡県立小山高等学校

令和６年 12 月 13 日（金）発行

12 月２日～５日　IN　沖縄。最高の４日間！

天気に恵まれ、すばらしい４日間となりました。修学旅行で育成した力が学校生活に生かされます！

実行力・協調力・課題発見力の育成

修学旅行を通じて「大人」として思考・行動するための資質・能力を育成

小山高校修学旅行の目的

修学旅行実行委員長　平川　真衣

私は、修学旅行を通じて、次の３つの力を伸ばしていくことができると思います。

１つ目は、実行力です。タクシー研修や修学旅行における集団行動を通じて、時間を守ること、計画的に行動することに気を配り、目的を設定して活動する実行力を伸ばしていきます。

２つ目は、協調力です。班やクラスのメンバーだけでなく、学年全体で行動する場面で、他クラスとも協力し合い、他者と力を合わせて達成していく協調力を養います。

３つ目は、課題発見力です。私たちが住む北駿地域とは異なる沖縄の歴史や環境、文化に触れることで、時間的・空間的な比較を行い、課題を発見し、自分たちにできることを考えていく力を伸ばすことができます。また、制服だけでなく私服で行動する機会により、場面に応じた服装について思考・判断し、修学旅行に適したふるまいを取ることで、自身の行動に責任を持つ「大人」へと成長することができると思います。

修学旅行の目的は、単に楽しむだけでなく、お互いに協力し合い、平和学習や沖縄の文化学習を通じて、社会に出た時の「大人」として行動できる資質・能力の育成にあると考えています。修学旅行を通じて、社会をよりよく形成することのできる「大人」へと大きく成長していきましょう。

修学旅行実行委員のみなさんには、合計８回のランチミーティングを始め、修学旅行の服装規定の作成やアクティビティの企画、しおりのデザイン、学年全体への事前説明、旅行中のリーダーシップなどに力を尽くしてもらいました。なかでも、私服の規定については、何度も教員側と対話を重ね、学校生活のルールを守らせること、小山高校の生徒としてふさわしい私服を順守するためのチェック体制をつくることなど、思考・行動を重ねてきました。

こうした経験は、これから自らの進路を切り拓き、努力を続けていくみなさんにとって、大きな経験になったと思います。この修学旅行はみなさんの「大人」としての姿を感じられた行事でした。いよいよ、これからは進路活動の時期です。「進路活動は大人のすること」です。でも恐れる必要はありません。みなさんは、レジリエンス（ねばり強さ）やセルフマネジメント（自己調整）の力を十分に身に付けています。勇気をもって、思考と行動をしていきましょう！

修学旅行 in 沖縄

修学旅行委員を中心に、みなさんで協力して成功した「大人」としての修学旅行でした！大変すばらしかったです！